

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史

編集後記

▶本特集は、“乳癌に対する集学的治療”を取り上げました。乳癌の治療は、乳房切除術、乳房温存手術、リンパ節郭清や領域リンパ節照射、術前及び術後化学療法や放射線療法、さらに HER2 陽性乳癌に対する分子標的薬など多くの治療法が行われるようになり、常に局所制御と全身療法を組み合わせる考えなければなりません。乳癌の治療では、それだけ微小転移を含めた種々の転移のリスクを考慮しなければならないからです。そのために多くの治療法を組み合わせる実施する集学的治療といった考え方が必要になります。また、それぞれの治療法の効果や副作用についても良く理解し、腫瘍の制御と生活の質（Quality of Life）のバランスを常に考えて治療しなければなりません。乳癌には、時に個別化医療といった概念も必要になる、医師にとっても患者さんにとっても治療法の選択の難しい癌だと思います。本特集では、治療の難しい乳癌の集学的治療について、専門医が最新の知見を含めて詳細に解説しておられます。また、総説の3編は頭部外傷に対する Dual Energy CT の応用、FDG/PET を用いた肝腫瘍および腫瘍の診断、さらに稀な ANCA 関連脊髄肥厚性硬膜炎の特徴的な画像所見が報告されています。ぜひ、ご一読ください。

▶先週、米国シカゴで開催された北米放射線学会（RSNA）では、「放射線科医の記載する報告書は、どのようにあるべきであるか。」についての教育講演が多くなされました。基本的には、患者さんにも分かりやすいようなビジュアルな書式と内容の報告書が推奨されており、末尾には作成した放射線科医の顔写真や病院の放射線科チームの顔写真とメールアドレスなどの連絡先が掲示されていました。これまで報告書は、臨床医に伝える目的で作成していましたが、患者さんに読んでもらうための報告書に変更するのは決して容易な作業ではありません。しかし、放射線科医の報告書を患者さんに見てもらえるようになれば、これまで Invisible Radiologist と言われていた放射線診断専門医が、はじめて Visible Radiologist として患者さんにもその存在が認識されるかもしれません。

今井 裕

「臨床放射線」第 63 巻 第 13 号

2018 年 12 月 10 日発行（毎月 10 日発行）

定価（本体 2,600 円＋税）

年間購読料金 定価（本体 39,700 円＋税）

〔年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。